

2018（平成30）年度 活動報告書

2019年2月

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ



セブン・ジェネレーションズ（SG）とは？

Mission

わたしたちは持続可能で公正な未来を実現するために、目覚め続ける世界市民のコミュニティを育みます。

Value

1. 人

この活動に参加するすべての人を尊重します。そして参加しないすべての人も尊重します。目指すビジョンを実現するのは人。かけがえのない人と人がここに集い、この活動がはじまりました。

2. つながり

すべての存在とのつながりを感じます。自分につながるすべての人。生きとし生けるもの。身の回りにある道具。自分が食する食べ物。そして地球。すべてのものとのつながりに思いを馳せます。

3. 対話

心を開いて対話することを実践します。お互いの心の中にある声に耳を傾け、お互いの人そのものに興味を持って言葉を紡ぎ合います。

4. プロセス

プロセスを大切に扱います。今、そこに葛藤があったとしても、プロセスを丁寧に踏むことで未来への智慧が見つかります。そしてその智慧の中から結果が自ら姿を現すことを信じます。

5. オープン

この活動の場はすべてオープンなスペースです。つまりこの場への出入りは自由であり、安心してそれぞれの想いに沿って活動・発言ができる自由があります。そして、この場にある智慧、情報、出来事は場の外に向けても開かれています。

6. 問い

常に問いを持ち続けます。言葉を手にした瞬間から「思い込み」がはじまります。さらに問いを持ち、言葉を更新し続けること。言葉にならないものに問いかけ、言葉にしていくことに挑戦します。

7. 体現

わたしたちは、わたしたちの願いを体現する集まりです。外に求めるだけでなく、謙虚に自分達のビジョンを自分達で示すことを意図して活動します。



I. 基幹事業

- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム . . . 5 ページ
- ・ ファシリテーター・トレーニング . . . 6 ページ
- ・ ゲームチェンジャー・インテンシブ . . . 7 ページ
- ・ 「アチュアルの夢」自主上映会 . . . 8 ページ

II. 主なプロジェクト・イベント

- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム 10周年記念プロジェクト
 - トランジション・タウン&チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム10周年の集い . . . 11 ページ
 - ジョン・パーキンス「責任のある消費者と責任のある企業でつくる新しい物語」 . . . 12 ページ
 - 魂に導かれるままに！～リン・ツイスト物語～ . . . 13 ページ
- ・ 映画「アチュアルの夢」制作プロジェクト . . . 15 ページ
- ・ チェンドリ盛り上げ隊 . . . 16 ページ
- ・ 「BeGood Cafe TOKYO vol.100」へ参加 . . . 17 ページ
- ・ 楽しく、自由に、夢を語る！大ほら吹き大会 . . . 18 ページ
- ・ 「アースデイ東京2018」へ参加 . . . 19 ページ
- ・ パチャママ・アライアンス「グローバル・ギャザリング」へ参加 . . . 20 ページ
- ・ ブラーマ・クマリスの仲間に関わろう！ . . . 22 ページ
- ・ 本当の平和ってなんだろう？を対話する2日間 . . . 23 ページ



- ・ パチャママ・アライアンスのマイサ初来日 ～ コミュニティメンバーとの交流ウィーク . . . 26 ページ
- ・ 「Ama La Vida Festa2018」へ参加 . . . 28 ページ
- ・ 「しあわせの経済フォーラム 2018」へ参加 . . . 29 ページ
- ・ 世界が終わるまでは希望を語ろう 「オンラインフェス2018」へ参加 . . . 30 ページ

Ⅲ. 運営

- ・ 通常総会 . . . 32 ページ
- ・ 理事会 . . . 37 ページ
- ・ 関係団体チーム . . . 38 ページ
- ・ 広報チーム . . . 40 ページ
- ・ コミュニティを育むチーム . . . 41 ページ
- ・ 事務局 . . . 43 ページ
- ・ 7世代研究所 . . . 44 ページ

Ⅳ. 最後に

- ・ 寄付のお願い . . . 47 ページ
- ・ 代表理事メッセージ . . . 49 ページ
- ・ 法人概要 . . . 50 ページ



I. 基幹事業

- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム
- ・ ファシリテーター・トレーニング
- ・ ゲームチェンジャー・インテンシブ
- ・ 「アチュアルの夢」自主上映会

チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム



2018年、チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム（以下、「チェンドリ」）は各所で開催され、合計216人が参加し、累計は4,361名となりました。開催された61回の内、3分の2がZoomを用いたオンラインでの開催です。

様々な形でのチェンドリ開催

【オンライン「チェンドリ」】

ここ数年、Zoomによるオンラインでのチェンドリの開催が増えています。オンラインでスライド、動画の共有、対話を中心に、2時間半～4時間、1日で開催するケースや、複数日で前編後編という形での提供など、様々なパターンがあります。

12月にはファシリテーターはオンライン、参加者はリアルに集うという初めてのハイブリッド開催も行われ、より遠くの人たちにも届けられる可能性が広がっています。

【自分のテーマと結びつけた「チェンドリ」】

自身が興味がある、使命としているテーマとチェンドリを結びつけた開催も行われました。「SDGsとチェンドリ」「食とチェンドリ」「音楽とチェンドリ」「映画上映会+チェンドリ」「パーマカルチャーとチェンドリ」「森の中でチェンドリ」など、ファシリテーターの自分らしさを生かした開催が続いています。





ファシリテーター・トレーニング

2018年度は東京と大阪で計2回のファシリテーター・トレーニングを開催し、16名のファシリテーターの仲間が誕生し、日本でのファシリテーターは272名になりました。2019年度はいよいよ新トレーニングプログラムとして改訂されます。

第30回チーム「クリキンディ30」12名

日程：前半 6月16日（土）、17日（日）、
6月23日（土）、24日（日）

後半 7月15日（日）、9月1日（土）

場所：東京都

安藤和子（Peace姉さん）、岩瀬淑乃（よしの）、内田由美（うっちー）、奥川美也子（みや）、角野仁美（ひとみん）、姜咲知子（イエジン）、小泉容子（ようこ）、小林正幸（こばちゃん）、永井一哉（ポッキー）、中島未来（みっきー）、中村敬子（けいこ）、前迫修（サム）



第31回チーム「ウインテイル」4名

日程：7月17日（火）、18日（水）～ 8月22日（水）

場所：大阪府

池田麻矢（まや）、近藤正教（Nori）、清野健太郎（KENさん）、山崎けんいち（やまけん）

トレーニングリーダーチーム

桑原康平（サウル）、田嶋真紀（まき）、宇佐見博志（ひろくん）、野崎安澄（あずみ）、宮田恵（めぐみ）、鈴木繭子（まゆちゃん）、関口守（マモ）、鈴木核（かくさん）、安田恵（めぐちゃん）、磨井敦子（あっちゃん）



ゲームチェンジャー・インテンシブ



ゲームチェンジャー・インテンシブ (GCI)日本語コース2年目

2017年にスタートしましたゲームチェンジャー・インテンシブ日本語コース。2018年は2年目の年を迎え、1月期・6月期・8月期3回の実施で、延べ94名の参加者と35名のモデレーターの合計129名の方に参加していただきました。

5月には新しく公式HP（ <https://gci-japan.com> ）をオープンし、より多くの方に分かりやすくGCIの情報を伝えることができるようになりました。

また、GCI経験者のコミュニティでは、GCI経験者をスピーカーとして迎えた「9 Cafe / 9 bar」や、「モデレーター勉強会」「くらしと政治場あ」「平和について語る会」「そもそも対話会」「GCI自主学習会」、各地のGCI経験者がリアルに集う「オフ会」など、様々な形で繋がり続ける場が広がった1年でもありました。

ゲームチェンジャー・インテンシブ運営チーム

GCI運営チームでは、毎週定例のDoing(すること) ベースのミーティングに加え、お互いの想いやあり方を共有し合うBeingのミーティングを行ったり、期ごとにお互いを振り返り&承認し合うミーティングを開くなど、チームとしてGCIの運営をより良いものにしていくように取り組んできました。2019年度も「GCIとその仲間たちがすこやかに育つ」をミッション・行動指針として運営を続けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。





「アチュアルの夢」 自主上映会

エクアドルと日本の外交関係樹立100周年を記念して3月より笠間日動美術館で開催された企画展「古代文明への旅 ―アステカ、マヤ、インカまでの道のり―」会期中のイベントの一つとして、「アチュアルの夢」の自主上映会&トークセッションが開催されたのを皮切りに、北海道から宮城、東京、静岡、大阪、兵庫、長崎まで日本各地で自主上映会が続々と行われました。

SGが地球の裏側のエクアドルとつながりを持ったのは、エクアドルのアマゾン熱帯雨林に住む、アチュアル族という先住民の呼びかけによってでした。彼らは、熱帯雨林の中で自然と共存して暮らしていますが、1980年代後半から石油や木材、鉱物を求める外部の人たちに生活を脅かされることになりました。そのとき、アチュアル族は単に敵対するのではなく、地球の未来を守るため外の世界に協力を呼びかけたのです。そして1995年、映画の途中にも出てくるアメリカのNPOパチャママ・アライアンスの創設者リン・ツイストと出会ったのです。リンは地球上のすべての人が持続可能で公正で充足した生き方を実現するため「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」というワークショップを作り、世界に広めています。そして、私たちは日本でそのワークショップを展開しています。今回の映画を作ったのも、私たちが持続可能で公正で充足した未来を自分たちで創り出していく時に、エクアドルの自然や、人が、インスピレーションを与えてくれると考えたからです。

引き続きどなたでも自主上映会が開催 できますので、ぜひこの活動を広める仲間になっていただければ幸いです。



自主上映会は、以下の手順で開催できます。

- (1) 開催申請をする (<https://goo.gl/forms/6hK4PJCgmLmvPtLv1>)
- (2) 開催する
- (3) 開催報告をする (<https://goo.gl/forms/15HNUjVdv7qb1ug03>)
- (4) 参加者(中学生以上) × 500円をセブン・ジェネレーションズへ払う

※ 参加費はご自由にお決めいただくことができます。

※ 注意事項

- ① イベントを立てるとき「自主上映会」とお書きください。
 - ② 「NPO法人セブン・ジェネレーションズ共催」にしてください。
- 詳細はHPをご覧ください。

<https://www.sevengenerations.or.jp/achuar-events>



Ⅱ. 主なプロジェクト・イベント

- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム 10周年記念プロジェクト
 - トランジション・タウン&チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム10周年の集い
 - ジョン・パーキンス「責任のある消費者と責任のある企業でつくる新しい物語」
 - 魂に導かれるままに！～リン・ツイスト物語～
- ・ 映画「アチュアルの夢」制作プロジェクト
- ・ チェンドリ盛り上げ隊
- ・ 「BeGood Cafe TOKYO vol.100」へ参加
- ・ 楽しく、自由に、夢を語る！大ほら吹き大会
- ・ 「アースデイ東京2018」へ参加
- ・ パチャママ・アライアンス「グローバル・ギャザリング」へ参加
- ・ ブラマ・クマリスの仲間に会いにいこう！
- ・ 本当の平和ってなんだろう？を対話する2日間
- ・ パチャママ・アライアンスのマイサ初来日～コミュニティメンバーとの交流ウィーク
- ・ 「Ama La Vida Festa2018」へ参加
- ・ 「しあわせの経済フォーラム 2018」へ参加
- ・ 世界が終わるまでは希望を語ろう 「オンラインフェス2018」へ参加

チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム 10周年記念プロジェクト



チェンジ・ザ・ドリームシンポジウムが初めて日本で開催されてから10周年目を迎え、10周年記念イベントを3つ行いました。

- ・ 9/8-9 トランジション・タウン&チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム10周年の集い
- ・ 11/11 ジョン・パーキンス「責任のある消費者と責任のある企業でつくる新しい物語」
- ・ 12/15 魂に導かれるままに！～リン・ツイスト物語～

それぞれのイベントについてご報告いたしますので、どうぞご覧ください。



チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム 10周年記念プロジェクト



トランジション・タウン&チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム10周年の集い

榎本英剛（ヒデ）が、トランジション・タウンとチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムを日本に紹介してちょうど10年。その10周年をトランジション・ジャパンとSGと一緒に「お祝い」をするイベントとして、9月8日（土）～9日（日）の間、神奈川県藤野で開催されました。

2日間でのべ200人を超える参加者のみなさんと共に、「7世代先につながる今をつくる」をテーマに、未来と今後のアクションを描きました。アメリカのパチャママ・アライアンスからマイサも参加し、北海道から石垣島まで日本全国、さらには韓国からも参加者が集まりました。

初日は、10年の出来事を振り返り、なぜ自分がここにいるのか、自分の原点と目的を確認する時間でした。リン・ツイストたちからのお祝いメッセージを紹介したほか、10年振り返り年表を観て語り、ワールドカフェやつながりを取り戻すワークをしました。夜は、色とりどりのパフォーマンス。関口守（まも）のウクレレ、木越省吾（しよごちゃん）のギター、小泉容子（ようこ）の歌、山口愛さんなど盛りだくさん。

2日目は、気候変動に対処する提案「ドローダウン」という活動の紹介や、今後のSGの方向性、身体からの声を受け取るムーブメント・メディシン、7世代先をイメージして今の一步を考えるタイムラインなど、充実したプログラムでした。

久しぶりにSGの活動に参加いただいた方もいて、再会を懐かしむ時間でもありました。今後のトランジション・タウンとのコラボや、それぞれが熱を持つ活動がスタートしていきそうです。



チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム 10周年記念プロジェクト



ジョン・パーキンス「責任のある消費者と責任のある企業でつくる新しい物語」

11月11日（日）アメリカの途上国への経済的支配構造を暴いた「エコノミックヒットマン」の著者であり、NPOパチャママ・アライアンスの創設メンバーとなったジョン・パーキンス氏をお迎えして、日本初のオンラインセミナー（逐次通訳付）を開催しました。

参加者とスタッフ含め40人を超える方がZoomに集まり、ジョンが「エコノミックヒットマン」である自分とどのように決別し、現在のミッションに目覚めたのか。また、地球を破壊する「死の経済」から持続可能な地球のための「生の経済」を生み出すためには、個々人の意識の変容と消費者としての行動がいかに大切か、ということをも、熱く語っていただきました。

また、SG代表理事の宇佐見博志（ひろ）は、P&Gでの体験に基づく物語を語り、「企業の中で働いていて、環境的負荷が高く、社会的不公正を助長したり、健康を害するような商品・サービスをマーケティングで消費者を教育し、買わせ続けるという連鎖・仕組みを疑問を持っている人は、どうすればいいのでしょうか？」という問いを投げかけました。

これに対する回答は、今後も一緒に探求していきましょう！

ジョンは、お孫さんの写真を見せてくださったり、ハートの絵を描いて「地球からの愛を送るよ！」とメッセージをくださったり、本当にチャーミングな方でした。

このイベントの録画をこちらホームページで販売しています。

<https://www.sevengenerations.or.jp/johnperkins-online>



チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム 10周年記念プロジェクト



魂に導かれるままに！～リン・ツイスト物語～

12月15日（土）のオンラインイベント『魂に導かれるままに リン・ツイスト物語』は180名にお申し込み頂き、大盛況のもと開催されました。

リン・ツイストは、トランスフォーメーション（変容）を教えてくださいました。

- ・ 今人類は無意識の眠った状態にいて、欲しいと思ったものが手に入るという体験をするけれど、それ自体が牢獄の中にいるようなもの。世界は乏しい、充分でないという世界観の中で生きていて、恐れの中で過ごしている。
- ・ トランスフォーメーションは、チェンジではない。チェンジは、何かを悪いこととしてそれを正そうとする。トランスフォーメーションは、完全で、過去・現在・未来が全く違った形で見えてくる。
- ・ トランスフォーメーションのプロセスは、「あなたが大切にすることが、あなたを大切にする」ところから起こる。感謝をしたらそこから感謝が返ってくる。自分がもっているものに注意を向ける。リンは、困難な状況を体験するときは、自分を成長させてくれる機会と捉え、自分が感謝できることに意識を向けていくそうです。



（次ページへつづく）

チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム 10周年記念プロジェクト



ファシリテーションの由佐美加子（みいちゃん）がリンの魅力を存分に引き出してくれ、本田健さんもHappy Money（幸せなお金）の循環について話してくれました。福島由美（ゆみ）は、英語を聞いていると感じさせないスムーズな通訳でした。

このイベントの動画は販売中で、こちらのホームページからお申込み頂けます。

<https://www.sevengenerations.or.jp/lynne-guided-soul>

このプロジェクトを一緒に進めてくれたスタッフの皆さま、参加者の皆さま、本当にありがとうございました。





映画「アチュアルの夢」制作プロジェクト

2016年に立ち上げた映画「アチュアルの夢」制作プロジェクトのDVDブックレットが完成いたしました！

南米エクアドルの熱帯雨林にすむアチュアル族を日本人19名が訪問したのは、2016年10月。アンデス山脈のケチュア族・熱帯雨林に住むアチュアル族の元を訪れ、私たちが自然の豊かさとともに充足していくことや、それを未来につないでいくことの大切さに気づきました。この旅の様子を映画「アチュアルの夢」として、龍村ゆかり監督、鶴田真由さんによるナレーションにより、アチュアル族の高い精神性にふれる貴重な映像が素晴らしい作品にさせていただきました。

「アチュアルの夢」DVDブックレットはSGが出展するイベント等で販売する他、ガイアシンフォニーのホームページでも販売しています。（<http://gaiasympphony.com/shop/achuar-dvd>）

また、完成を記念して「アチュアルの夢特別上映会」および鶴田真由さん・本田健さん・龍村ゆかりさんのトークショーを、アースデイの4月22日（日）に開催しました。アチュアル族が毎朝お茶を飲み、輪になってひとりひとりが夢を語り、シャーマンがそれをひもとくエピソードの紹介を受けて、夢や高い精神性についての奥深い対談になりました。



映画「アチュアルの夢」は、自主上映事業を行なっています。自主上映会を主催・ご覧になりたい方はこちらのページもご覧ください。

（<https://www.sevengenerations.or.jp/achuar-events>）



チェンドリ盛り上げ隊



チェンドリがもっと開催されるように、盛り上げていきたい！という13名の有志が集まり、「チェンドリ盛り上げ隊」を10月に結成しました！

10月19日（金）のキックオフミーティングを含め、年内9回のミーティングを開催しました。
手始めに、ファシリテーターへのアンケートを実施し、とりまとめました。

年明けからはアンケート結果をもとにファシリテーター対話会を開催したり、アンケートで要望の多かった項目を盛り上げ隊としてどうサポートしていけるかを検討していく予定です。

メンバーは、チェンドリが日本に上陸したころから関わっている人から、一番最近のファシリテートレーニングで仲間になった人まで、さまざまな年代・さまざまな地域の「チェンドリ好き」が集まっています！

ここから関わりたい！というかたも募集中ですので、興味のあるかたは、ぜひお知らせください！



「BeGood Cafe TOKYO vol.100」へ参加



東京の桜が満開に近づいた3月25日（日）、BeGood Cafe vol.100 に出展してきました。Cafeの名のとおり、ドリンクありオーガニックランチあり。オープンマイクでは団体PRやポエトリーリーディングあり。岡野弘幹さん、山根麻以さん他のライブありで、とてもアーティスティックな時間でした。

ブースでは、チェンドリ関連の書籍やエクアドルのワユサティ、チョコレートを販売しながら声をかけてくださる方々とお話しし、今後も何か一緒にやろう！アースデイで再会しよう！など、これからのつながりが楽しみなたくさんの出会い、再会がありました。何人かのチェンドリ ファシリテーターとも再会でき、さらに今までGCIのzoomでしかお会いしていなかった仲間も立ち寄ってくれ初めて直接会えたのもとてもうれしかったです！あの日、一人でも多くSGのことを知ってもらい、いろんな活動の形があるんだなと感じてもらえていたらうれしいです。



<https://www.facebook.com/BeGoodCafeTokyovol.100/>
<http://begoodcafe.com/>

※ BeGood Cafeは昨年亡くなられた代表のシキタさんが「素敵ないいことはじめよう」と、いいことを語る場、集う場として1999年（ってことはおよそ20年前！）から続いてきたものです。当日はSGを知らない人に存在を知ってもらおう、リン・ツイストやGCIなどの紹介、そしていろんな活動をしている人たちとつながろうと思っています。ぜひ遊びに来てください。Facebookページを見るだけでも、いろんな人たちが出てきていて面白いですよ！

※ 秋山紀子（のんたん）、磨井敦子（あっちゃん）、鳥谷部愛（LOVE）、法川繭子（繭ちゃん）の4人がブースを担当し、のんたん、桑原康平（サウル）がオープンマイクを担当しました。



楽しく、自由に、夢を語る！大ほら吹き大会

4月1日（日）大阪で「楽しく自由に夢を語る 大ほら吹き大会！」を開催しました。関西一円と、遠くは福岡からも、25名の方が大ホラを吹きに集まってくださいました。

エイプリルフールの日、実現したい未来がまるで実現しているかのように、皆で大ほらを吹こうという企画です。集まったときから熱気がすごい！大ホラの詳しい内容はたくさんありすぎて書ききれませんが…、「神」が登場したり、「魔法使い」が登場したり（笑）未来の首相も！

循環型社会、地域でのベーシックインカム導入、日本各地で「祖国」「安心して生きられる社会」「ええ奴コミュニティ」を作る、世界一周、世界のリーダーたちと会う、コンドルとワシの融合した世界などなど、色々なキーワードが出てきました。

ひとり一人の大ホラを聞き終わると、盛大の拍手が起こる暖かい場となりました。「全てはあの大ホら吹き大会から始まった！」そんなセリフが未来から聞こえてきました。終わった後は、同じブランシェットさんの別スペースに移動して懇親会。とっても楽しい一日でした！



【参加者：辻本朔くん（11歳）からの感想です！】

エイプリルフールにウソをつく相手といえば家族くらいだったので、たくさんの人相手にウソをつくのは面白そうだと参加しました。最初は「人前で話すのは緊張するなあ」と思っていました。実際には、人の話を聴くのはおもしろかったし、自分も話しているうちにだんだん楽しくなっていました。

僕は神様になりたいので「私は神です」というホラをふきました。みんなが盛り上げてくれたのは少し恥ずかしかったですが、話すのは楽しかったです。他のみんなも、ホラをふいているときは笑顔でとても楽しそうでした。会場の空気も華やかになっていました。自分のやりたいことが実現していることを想像していたからだと思います。

参加して感じたのは、「循環」、「自分を生きる」とか同じような言葉がたくさん出てきて、みんな同じことを思っているということ。みんなのついたホラが実現したらいいなと思いました。自分のホラも実現してほしいです。



「アースデイ東京2018」への参加

4月21日（土）、22日（日）の2日間、アースデイ東京2018に初めて出展しました。これは、「しあわせの経済」世界フォーラム2017をきっかけにしたご縁で実現しました。

当日は、ナマケモノ倶楽部、農×U（かねこファーム）、NPO法人えこびれっじネット日本GEN-Japan、アズワンネットワーク鈴鹿コミュニティ、NPO法人トランジション・ジャパンとブースを共有してそれぞれの活動を紹介しました。ときには他団体の方にSGの紹介をしていただくこともあり、ご支援に心から感謝しています。

4月21日（土）の夕方には、ステージ「土と平和 2018 春の楽校」に副代表理事の桑原康平（サウル）が出演。「コミュニティづくりの現実と理想像」をテーマにしながら、NPO法人えこびれっじネット日本GEN-Japanの片山弘子さん、アズワンネットワーク全国事務局の北川道雄さん、NPO法人トランジション・ジャパンの小山宮佳江さんとともにそれぞれの活動を紹介しました。



アースデイ東京には久しぶりに訪れた感じがして、他の団体のいろんなブースを楽しみながら訪れることができました。SGのブースにも多くの方が訪ねて来てくれて、とても嬉しかったです。

今回の参加にあたっての事前準備や当日の運営には、岩瀬淑乃（よしの）、磨井敦子（あっちゃん）、桑原康平（サウル）、関口守（マモ）、田嶋真紀（まき）、鳥谷部愛（LOVE）、中島未来（みっきー）、法川繭子（まゆ）が協力してくれました。

本当にありがとうございました。



パチャママ・アライアンス「グローバル・ギャザリング」へ参加



5月25日（金）から28日（月）にかけて、アメリカはサンフランシスコ郊外、ペタルーマという町でパチャママ・アライアンスのグローバル・ギャザリングが開催され、セブン・ジェネレーションズのコミュニティからは理事4名を含む、総勢10名が参加しました。

グローバル・ギャザリングは、パチャママ・アライアンスでも数年に一度開催されるかどうかという特別なイベントです。

今回は北南米はもとよりアフリカ、オーストラリア、インドネシア、ニュージーランド、そして日本と、まさにグローバルという名に相応しい参加者が集まりました！

4日間のスケジュールは、シンポジウムやGCIでもおなじみの豪華スピーカー陣による講演や小グループでの対話、先住民の伝統に従った儀式、そして参加者たちが自発的に提供する様々なプレゼンテーションなど本当に盛りだくさんな内容でした。

また、リン&ビル・ツイスト夫妻、ジョン・パーキンスなどパチャママ・アライアンスの創設者、GCIのマリオにトレイシー、コミュニティ・担当マイサもみんな揃って参加していました。



(次ページへつづく)

パチャママ・アライアンス「グローバル・ギャザリング」へ参加



日本から参加した一行も、普段は動画でしか見れない人たちと生で接し、共に食事をしたり、一緒に並んでその時々スピーカーの話を聴き、小グループで対話をして・・等、その場に居合わせてこそその貴重な機会を存分に味わうことができました。

プログラムでは、海外から参加したコミュニティが紹介される時間もあり、南米のグループと共に私たち日本チームも活動の報告をする時間をいただくことができました。

また、「アチュアルの夢」の紹介やSDGs ゲームの体験会などを提供する機会も設けられ、グローバル・コミュニティの一員としてセブン・ジェネレーションズの活動を知っていただく貴重な機会にもなりました。



ブラーマ・クマリスの仲間に会いにいこう！



7月8日（日）の午後、NPO法人ブラーマ・クマリス（BK）とSGの合同交流イベント「ブラーマ・クマリスの仲間に会いにいこう！」が、東京・東中野にあるBKの東京センターで開催されました。

BKのチェンドリファシリテーターの方が8人、SGのファシリテーターが8人、16人の参加でした。BKの夏らしい美味しいお菓子（徹底的に非暴力を考えてつくっていただいたそう！）とお茶をいただきながら、新たな出会いや久しぶりの再会を喜び合い、深い学びや気づき、そして感謝の溢れる時間になりました。その数日前に息子さんを亡くされたBKの梅津礼司さん（うめさん）が、このラージャヨガ（BKが学ばれている）の学びがどう今回の深い悲しみを喜びにかえていったのかをお話くださり、BKの方々がラージャヨガの学びを普段の生活の場で実践、生かしていて、それが周囲へ幸せの波及を生み出している。うめさんのお話を通してそれをリアルに実感させていただきました。

そしてBKが大事にされていることのお話もうかがい、最後にはいっしょに瞑想も。
そして豊かな感想のシェアの時間ももちました。

それぞれの役割はありながらも同じところを目指している、穏やかで力強いこのBKの仲間たち。SGのコミュニティの豊かさをあらためて感じさせていただいた時間でした。

BKの皆さんは、2019年は気候変動に力を入れていこうといろんなイベントなども計画されています。これからも協力し合いながら一緒にやっていきたいと思います。

【ブラーマクマリスHP】 <http://www.brahmakumaris.org/japan/>





本当の平和ってなんだろう？を対話する2日間

1日目：本当の平和って何だろう？ 映画『純愛』上映対話会

8月8日（水）、五井平和財団主催で国連大学ウタントホールにて「本当の平和って何だろう？」映画「純愛」上映対話会が行われました。

NPO純愛国際基金の奥山省吾さんにお声がけいただき、SGも協力団体として、サポートさせていただきました。

当日は、SGのコミュニティメンバーがたくさん参加してくれており、再会、初の対面を喜びあいました。

夜は映画「純愛」のコミュニティ・ボランティアメンバーの方々と一緒に納涼会で交流を深め、世界平和への想いを共にする同志として繋がりを深めました。

「純愛—JUN-AI—」公式HPはこちら <http://jun-ai.biz/>



本当の平和ってなんだろう？を対話する2日間



2日目：対話と祈りの場「8月9日平和の祈りの輪」

映画「純愛」上映会の翌日8月9日（木）、被爆73年目のながさき平和の日の午後、文京区の会場にて対話と祈りの場「8月9日平和の祈りの輪」を開催しました。

集まった6人で輪になって座り、平和をテーマにそれぞれが自由に語り合い、互いの話を聴き合いました。

いろんなトピックが出てくる中で、ひとりひとりがさまざまなことを感じ、考え、平和について思いを巡らせていたと思います。

共感したり、違和感を覚えたり、話が深まっていくかと思えば戻ったり、他へ移ろっていったり…。そんな思うがまま、あるがままの互いが尊重された、貴重で美しい時間。それはそのまま「祈り」であったのではないのでしょうか。

5ヶ月近く経った今、あの時話されたひとつひとつの具体的な内容については記憶が薄れてしまっているのですが、安心して話せる深い場を経験した、という感触・感覚だけは、ほのかに、でも確実に残っています。

もしかしたら、この感触・感覚こそが、対話によって生み出される、かけがえのない実りなのかもしれません。そして、このかけがえのない実りをもたらす経験を、わたしたちひとりひとりが地道に積み重ねていくことが、平和を創造していくプロセスなのかもしれません。

（次ページへつづく）



本当の平和ってなんだろう？を対話する2日間

振り返れば人類の歴史は、そのまま争いの歴史でした。争いをなくすために争う、そんな物語が何度も繰り返されてきています。今年実現した南北首脳会談での両首脳の姿は、その古い物語の終わりと新しい物語の始まりを象徴するものだったと感じます。

「平和とは何か？」と問う時、わたしに浮かんでくるイメージは、オーケストラが奏でる音の調和です。個性の異なるさまざまな楽器がハーモニーとなり、わたしたちに届けてくれる美しさと豊かさは、世界がもともと調和していることを思い出させてくれるようです。わたしたちはそのことを忘れてしまいがちなだけだと教えてくれている気がするのです。

「平和」というテーマは、ひとりにとっては大きく重すぎると感じられやすく、ともすると扱いにくく近づきにくいものでしょう。しかし、『平和の祈りの輪』のような場で、「ともに」語り合い聴き合った経験からは、人類にとっての叡智につながっていく希望が感じられました。

互いへの信頼と尊重に満ちたスペースをともにしてくれたみなさんと、機会をつくってくださったSGコミュニティのみなさまに、心から感謝しています。本当にありがとうございました。



パチャママ・アライアンスのマイサ初来日～コミュニティメンバーとの交流ウィーク

9月5日（水）～13日（木）までの1週間、パチャママ・アライアンスの海外担当マイサが、9月8日（土）、9日（日）のトランジション・タウン&チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム10周年の集いに合わせて初来日しました。マイサとは長年パチャママ・コールで月一回コールで話し、いつも私たちをあたたくサポートし、パチャママとの繋ぎ役をしてくださっている存在です。

9月5日（水）マイサが日本に到着した前日に、到着予定の関西空港が台風による被害で閉鎖。飛行機は福岡空港へ。急遽福岡在住の川田照義（照）に福岡空港へ行ってマイサをサポートしていただき、皆の連係で無事に新神戸駅で宇佐見博志（ひろ）と会うことができました。

その晩には早速ウエルカムディナーを、コミュニティメンバー8人で、芦屋のオーガニックレストラン「ココザイオン」で。各自思い思いの楽器を持って演奏し、歌ったり踊ったりの楽しい時間でした。

9月6日（木）は、関西でのギャザリング。16名が参加し、マイサがリードして、コミュニティを育むことをテーマに、プログラムをしました。久しぶりの方、初参加の方も含めて、一人一人がやりたいことを明確にして伝える、意義深い場になりました。



9月7日（金）は少しだけ野崎安澄（あずみ）と一緒に京都観光。

そして、午後には関東に移動し、10周年イベントの会場となった神奈川県藤野へ。

9月8日（土）、9日（日）の2日間は、神奈川・藤野で10周年イベントに参加。トランジション・タウンの人たち、多くのSGのコミュニティの人たちと交流。10年を振り返ったり、どうこれから前に進んでいくのか一緒に話しました。マイサにもパチャママ・アライアンスの活動を紹介していただきました。

（次ページへつづく）

パチャママ・アライアンスのマイサ初来日～コミュニティメンバーとの交流ウィーク



最後の数日間は東京に滞在。

9月10日（月）ファシリテータートレーニングのリーダー達との一日。和やかにランチを一緒に。マイサのリードで、いろんなリーダーシップのあり方を体験したり、パチャママで使われているプロジェクトを進める方法の共有（DARCI）や、SGで起きていることをじっくり話す時間を持ちました。

9月11日（火）午後東京周辺のファシリテーターとのギャザリング。佐藤扶由夫(ふゆふゆ)のファシリテーターの元、皆が自分のやりたいことを出し合い、楽しく、深く、癒される時間を一緒に過ごしました。

9月12日（水）最終日に鳥谷部愛(LOVE)の娘さんの小学校を訪問。またお台場から水上バスに乗ったり、浅草を訪れたりして少し観光も。夜には鳥谷部愛(LOVE)宅で送別会をしました。



マイサにとっては連日の朝から晩までびっしり。忙しいスケジュールでしたが、彼女は終始笑みを絶やさず、連日元気に各地でSGコミュニティメンバーとじっくり交流していただくことができました。また彼女の滞在中、日本で起きていることも知ってもらうよう意図して伝えました。

コミュニティメンバーにとっても、パチャママの活動について知ったり、マイサと今起きていることについて想いをシェアしたり、対話をする時間を持つことができたと思います。

マイサの来日にあたって、宿泊、案内、食事など多くの方にご協力をいただき、また滞在費用も多くの方にご寄付いただきました。おかげさまで、日本で豊かな時間を過ごしていただけたと思います。ありがとうございました。



「Ama La Vida Festa2018」へ参加

日本とエクアドル共和国との外交樹立100周年記念イベント

チェンドリのふるさと、ともいえるエクアドル。外交樹立100周年を記念したイベント「Ama La Vida Festa2018」開催期間中の10月13日（日）、SGもこのイベントに参加しました。

会場は東京都国分寺市にあるオーガニックカフェ「カフェスロー」。カフェでは期間限定のエクアドル料理、ガラパゴス写真展の、中庭でのエクアドルマルシェとエクアドル舞踊イベント、最後は「アチュアルの夢」上映会とエクアドルを感じ、味わい、体感できる一日となりました。

エクアドルマルシェとSDGsのゲーム

SGでは、アチュアル族の伝統的なライフスタイルを守り続けていくパチャママの活動を知ってもらうため、ワユサティー、リン・ツイストの著書「ソウル・オブ・マネー」、「アチュアルの夢」DVDなどを販売しました。またエクアドルを通して持続可能で豊かな暮らしについて考えるきっかけになればという思いで、SDGsのゲームのワークショップも開催しました。

アチュアルの夢上映会で

「アチュアルの夢」上映会には予想以上に多くの方がお見えになり、私たちスタッフの夕食分が無くなってしまったという思わぬハプニングがありました。マルシェ出店していた方のご厚意でエクアドルバナナの差し入れがあり、マルシェ出店していた仲間みんなで上映会まっ最中の薄暗い会場のすみっこで、こそこそとバナナを食べたことは忘れられない思い出となりそうです。

最後に

イベント直前のお願いにも関わらずSDGsのゲームのワークショップを引き受けてくださった法川繭子（まゆ）、鈴木核（かくさん）、マルシェのお手伝いに藤野から駆けつけて来てくださった河合史恵（きら）、そしてイベントを盛り上げみんなを引っ張って行ってくくださった鳥谷部愛（LOVE）に、この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



「しあわせの経済フォーラム 2018」へ参加

11月11日（日）、明治学院大学白金キャンパスで開催された「しあわせの経済フォーラム」にて、マルシェへ出店をしました。

しあわせの経済フォーラム2018は、しあわせの経済世界フォーラム2017に引き続き、ローカリゼーション運動の第一人者ヘレナ・ノーバーク＝ホッジさん、NGO「ナマケモノ倶楽部」世話人でスローライフを提唱する辻信一さんが呼びかけ人となって開催されました。

その目的は、気候変動から民主主義の減退、精神的な病気や自殺の蔓延にいたるまで、私たち人類が直面している深刻で解決の急がれる危機が、グローバル経済と深く関わっていることに、ますます多くの人たちが気づきはじめているこのタイミングで、私たち一人ひとりが食の地産地消や分散型のローカルエネルギー、あらゆるビジネスの連携や地域金融などの領域で活動していくことです。

SGでは、この理念に共感し、美しい地球を未来につなぐために制作した、エクアドルアマゾンの先住民の暮らしを撮影した映画「アチュアルの夢」の紹介、エクアドルのチョコレート・神秘のお茶ワユサティーの販売などをしました。また、ANAフーズ様にご協賛いただき、濃厚で味わい深い循環型農法のバナナ・田辺農園バナナとともに持続可能な生き方についてもお伝えしました。



世界が終わるまでは希望を語ろう「オンラインフェス2018」へ参加



与贈工房主催のオンラインフェスに出展

12月16日（日）に行われた与贈工房主催のZOOMを使ったオンラインフェスの1コマに

「世界が終わるまでは希望を語ろう」

というテーマで1時間半のプログラムで出展しました。

当日はSGの紹介をした後、何本かの動画を見ながら「地球で起きていることに対する痛み」や「希望」について語り合いました。

出入りがありながらも総勢20人近い方が参加してくださいました。
ありがとうございました。

* オンラインフェス主催の与贈工房さんの公式情報はこちら

<https://yozokobo.com/>





Ⅲ. 運営

- ・ 通常総会
- ・ 理事会
- ・ 関係団体チーム
- ・ 広報チーム
- ・ コミュニティを育むチーム
- ・ 事務局
- ・ 7世代研究所

通常総会



2月11日（日）、東京都世田谷区がやがや館にて、SGの通常総会を開催しました。

今回の総会にて、理事の鳥谷部愛（Love）と丸山まゆみ（まゆみ）が退任し、代表理事の宇佐見博志（ひろ）が重任、新任6名を含む7人が新理事となりました。新任理事は、桑原康平（サウル）、小泉正信（しんしん）、佐藤さわ（さわ）、関口守（マモ）、田嶋真紀（マキ）、野崎安澄（あずみ）の7名です。監事は引き続き、由佐美加子（みーちゃん）、大山裕之（ひろ）の2名となりました。また、会計は秋山紀子（のんたん）が退任し、磨井敦子（あっちゃん）が新任しました。

引き続いて行われたお楽しみ会では、「源につながる」をテーマに、映画「アチュアルの夢」自主上映会と対話の会を行いました。そして、その後行われた懇親会では、持ち寄りとケータリング、マモのウクレレや木越省吾（しょごちゃん）、近藤勝信（こんちゃん）のギターに合わせて歌を歌う場面もあり、なごやかで楽しい場になりました。

今回新しい試みとしてオンライン（Zoom）を用いハイブリッド形式での総会としました。会場とオンライン上でテクニカルサポートをしてくださった大隅さん、松本さん、金澤さん、ありがとうございました。また事前準備や当日のサポートをしていただいたみなさん！本当にありがとうございました！





退任理事ご挨拶

丸山まゆみ

この度、理事を退任することになりました。お礼の言葉として、この機会に私の考えるこのコミュニティの素敵なところをお話します。

まずは、“源が一緒である”“違う”人たちの集まりということです。“違う”からこそ、簡単に前に進まないことも多いですが、“源は一緒”なので、迷いながらも行くべきところに行きつく安心感があります。次にコミュニティ自体がイキイキした生命体であるということです。その証拠に、ここに関わる人は、古株や新星、身近な人、遠くから見守っている人など、距離感はずいぶんまちまちにも関わらず、ある日突然コミュニティのど真ん中に躍り出たり、自然な形で卒業して行ったり。みずみずしい新陳代謝が起こっております。最後になりましたが、退任にあたり、温かいお言葉を数々いただきまして感動しております。お言葉に応えるべく羽ばたいてまいります。

鳥谷部愛

さて私こと、鳥谷部愛は、2018年2月末をもちまして、NPO法人セブン・ジェネレーションズの理事を退任いたしました。2013年の夏、次女を産む直前に本棚にあった『ソウル・オブ・マネー』（リン・ツイスト著）を手にとって感銘を受けてから、たくさんのシンクロニシティに導かれ、リン来日プロジェクトに関わり、アマゾン熱帯雨林を訪れ、理事として経営をしてきました。この間にセブン・ジェネレーションズの活動を通して素晴らしい友人たちにもたくさん出会い、多くの学びを得ました。みなさまからの厳しくも暖かい応援の言葉に、いつも励まされていました。チェンドリの中にも出てくる、リン・ツイストの言葉で私が大好きなものがあります。

（次ページへつづく）



~~~~~

私たちは皆、何らかの役割を持っています。その役割に優劣はなく、ただその人らしい役割があるだけです。自分の役割を果たしさえすれば、ずっと探し求めてきた人生の意味が見出せるはずです。

~~~~~

ただ私が私らしくありさえすればよいのだということを、このメッセージはいつも思い出させてくれます。

今後は、夫と共にお互いのビジョン実現をサポートし合える夫婦でいるためのコンセプト『学習する夫婦』を広める活動を行います。また、今の資本主義社会は男性的なパワーの翼を使って発展してきていますが、使われていなかったもう一つの翼である女性的なパワーを花開かせるという意味で、ママや女性のエンパワーメントをしていくつもりです。そして、さらに理事を退任して空いたスペースには長女の小学校のPTA会長という仕事も舞い込んできて、新たな私らしい役割を果たしていくことになりそうです。

自分が充足する生き方を選択する大切さをNPO法人セブン・ジェネレーションズの活動は教えてくれました。これからも当団体にはパートナーとして関わっていきますが、みなさまの変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。私もあなたも、みんなが自分らしい役割を果たし、充実した人生を送れますように。ありがとうございました！



新理事の挨拶

宇佐見博志

2015年2月に代表理事に就任し、今年で4年目になります。「地球上の全ての人々が、環境的に持続可能で、社会的に公正で、精神的にも充足した生き方を実現すること」というチェンジ・ザ・ドリームシンポジウム（チェンドリ）の目的に向けて、チェンドリ10周年という節目の年に、新しい仲間の理事たちと自らの命を使っていきます。どうぞよろしくお願いします。

桑原康平

昨年まではトレーニングプログラムリーダーとしてお世話になりました。

チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム10周年のこの年に新たに理事としてこのコミュニティに貢献できることを有難く感じています。

今年からは副代表理事、トレーニングリーダー、研究員として、改めてよろしくお願いします。

小泉正信

みなさま、はじめまして。ご縁があってチェンドリに参加し、理事となりました。自分自身の人生の目的とも重なる活動なので、喜びを感じながらこの役割を担っていきたいと思います。そして、次の方にこの松明を手渡すまで、明々と燃やし続けていきますね。よろしくお願いします。

佐藤さわ

2016年に初めてチェンドリに参加してから、ここまであっという間でした！チェンドリのプログラムが大好きです！遠隔地在住のため、オンラインでのさまざまな取り組みを推進することのお手伝いができればと考えています。よろしくお願いします。



新理事の挨拶

関口守

昨年までは、自分が理事に手を挙げることは考えていませんでした。しかし、自分の中でSGの活動を本当に自分ごととして捉えて行きたいと考えて、今回理事に加えていただきました。2016年に独立した時の決意は「チェンドリ的なことを生業として生きていくこと」。SGでの務めが、やがて仕事としても成立していくような取り組みができればいいなと思っています。よろしくお願いします。

田嶋真紀

旅が好きで、世界の各地を旅したり暮らした体験から、私たちの暮らし方がどう世界に影響しているのか、物は私たちが幸せにしないのだ、ということも実感しました。一人ひとりが自分の真に大切にしている想いや願いにつながり、そこから生きることが、私たち自身も、そしてこの世界も幸せにすることだと信じて活動しています。SGのコミュニティのメンバー一人ひとりの力が生かされ、つながり、いっしょに豊かな新しい物語を作っていけるように、力を尽くしていきたいと思います。

野崎安澄

2015年末にチェンドリを受け、2016年に初めてG C Iに参加した時、まさか自分が理事になるとは想像もしていませんでした。ほんの数年前の事なのに、人生って何が起きるか分かりませんね！今年は女性の副代表理事としてがんばります。よろしくお願いします。



理事ミーティングを月2回実施

理事7人に会計を含む8人の会議を月2回実施しています。理事は、仙台・東京・藤野・山梨・大阪・神戸と地理的には分かれていますので、一緒に会って話せる機会は、総会やマイサ来日時など限られています。それ以外はZoomでのオンライン会議です。時々参加できない人もいますが、議事録やチャット・動画をみてキャッチアップします。2018年後半は、書記を担当頂くボランティアの方も加わりました。時間は90-120分で、あらかじめトピックを書き出しておき、緊急度と重要度の高いものから話します。自分たちのあり方やこれまでの取り組みを振り返る時は、9～17時というミーティングをすることもあります。





関係団体チーム

トランジション・タウン

9月8日（土）、9日（日）に藤野で開催された「トランジション・タウン&チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム10周年の集い」を共同開催しました。4月から月2回以上のペースでミーティングを繰り返し、トランジション・タウン（TT）側は、吉田俊郎（しゅんろう）さん・小山宮佳江（みかえ）さん・河合史恵（きら）さん、SG側は田嶋真紀（まき）と宇佐見博志（ひろ）が参画、8月から法川繭子（まゆ）と小泉正信（しんしん）が参画し、濃密な準備を共にしました。さらに、直前の準備や当日は多くの仲間が互いに交流を深めました。イベント終了後も一緒に振り返り、その後も定期的に3カ月に一度ミーティングをしましうと、TTとSGの理事を中心にした話し合いが継続しています。

アズワンネットワーク鈴鹿コミュニティ

SGコミュニティの会員がサイエンススクールなどアズワンネットワークが提供するプログラムに参加し、一方、アズワンコミュニティのメンバーもチェンドリやGCIに参加しています。また、アズワンネットワークの関連団体NPO法人えこびれっじネット日本 GEN-Japanが主宰する「ガイア・エデュケーション」は、6カ月間で世界観・社会・経済・環境の総合的な視点を講師陣から学び、本心から安心して話し合うプログラムですが、SG代表理事の宇佐見博志（ひろ）が講師を担当しています。

関係団体チーム



ブラーマ・クマリス

7月8日（日）の合同交流イベント「ブラーマ・クマリスの仲間に出会いたい！」を開催し、交流を深めました。

また、11月25日（日）に神戸で開催された「しあわせへのレッスン」で、SG代表理事の宇佐見博志（ひろ）が「しあわせへの鍵」をテーマに講演をしました。

森と踊る株式会社

理事同士での対話の機会を持ちました。また、2019年3月16日（土）には、「ずーやん（三木一弥）とずーやんの森に出会いに行こう」という交流イベントを企画しています。



広報チーム



広報チームが生まれました

SGの活動をより多くの方に分かりやすい形で届けるために、広報チームが立ち上がりました。元々は新月通信・ゲームチェンジャー・インテンシブの広報担当など、バラバラで活動していたメンバーと新しく参加したいメンバーを募り総勢12名で「広報チーム」として活動をスタートしました。

ブログ・Twitter・勉強会・名刺・リーフレット作りなど動き出しています

2018年は5月より公式ブログを始め、Twitterを再開しました。また各種イベントの告知・広報に加えて、自主勉強会として『NPO法人向け 伝えるコツワークブック』に取り組み、SGの活動を上手に伝えるコツについて考えていきました。また活動をより広げていくためにイベントなどで配ることのできるSGの活動メンバーであることを示す名刺、またリーフレット作りなどのプロジェクトもスタートしています。

新月通信

毎月新月の日にSGやコミュニティメンバーの情報を発信している新月通信。

1,855人（2018年12月現在）の方に毎月お届けしています。

情報を載せたい方は newmoon@sevendgenerations.or.jp までご連絡ください。

みなさまの情報をお待ちしています。



コミュニティを育むチーム



ミッションにあるようにコミュニティを育んでいくことはSGにとってとても大切な活動です。目覚め続ける世界市民のコミュニティをまずはSG内で体現するために、今年も人と人とがつながる機会、対話をする機会を創ってきました。

また、チェンドリ10周年の節目を機に、Story of SG プロジェクトもスタートさせました。

「おかえり！かくさん会」の開催

4月8日（日）にザンビアでの2年間のJICAシニアボランティアから帰って来たばかりの鈴木核（かくさん）と、一緒に行かれた奥様やすよさんを囲む会を開催しました。会場には18名、オンラインでも6名余の方達が参加してくださいました。

食事や飲み物は持ち寄りで、皆かくさんに食べさせよう飲ませようと、豊かな食卓に！

そして現地を訪ねた丸山まゆみ（まゆみさん）を聞き役に、参加者からの希望、質問を織り交ぜながら、ざっくばらんに、そして率直にお二人から現地で感じられたことなどをお聞きしました。

参加された方からも「いろんな仲間に会えてうれしかった。それぞれに活動しながらも見ている世界は同じだと感じて、安心、安全の心持ちをシェアできた」という声もいただきました。





コミュニティを育むチーム

SG “ほっと” コミュニティ・コール

コミュニティ内での対話を増やし、つながりを作り、協力しあうためのオンラインでの対話会です。4月から毎月1回の頻度で計9回開催し、延べ79名の方にご参加いただきました。そして、SGの活動をお知らせしたり、お互いの活動や日頃から気にかけていることを共有したり、新会員・新ファシリテーターを歓迎したり、1年間を振り返って「私たちは今どこにいるのか」「どうやってここまで来たのか」を問うたりする機会となりました。いろいろな人が参加しやすいようにと思い、平日昼間、平日夜、休日昼間と時間帯を変えて開催しています。引き続き2019年も開催していきますので、ご都合が合うときにご参加ください。



Story of SG

このプロジェクトでは、これまでチェンドリやSGが歩んできた物語をまとめ、ホームページを通じてコミュニティの内外へ伝えています。そして、それによってコミュニティ内でSGの歴史や精神を受け継ぎつつ、コミュニティ外へはSGが何者であるかを伝える機会にしています。2018年は、池山康之（海老ちゃん）、岩瀬淑乃（よしの）、小泉正信（しんしん）、野崎安澄（あずみ）、本橋紀久子（きくこ）、谷藤敏郎（とし）といったメンバーで活動してきました。そしてSGの起源の物語として、創設者・榎本英剛（ヒデ）がチェンドリと出会い、SGを創設した頃の話を開示しました。

<https://www.sevengenerations.or.jp/our-story-1>

その他、ファシリテーター・トレーニングの最初のチーム「風々」へのインタビューも行っており、ただいま公開準備中ですので、楽しみにお待ちください。

事務局



2018年度の事務局は、今年度から事務局長になった小泉正信（しんしん）、同じく今年度から会計を担当している磨井敦子（あっちゃん）、前年度に引き続き会員管理を担当している本橋紀久子（きくこ）の新体制でスタートし、非営利団体のバックオフィスサポートを専門にされている半田志野さんのサポートを受けながら活動してきました。

今年度は「活動したい人が活動しやすいように」を意図し、SGの基盤を整えることを目指してきた1年でした。

常勤職員はいない事務局ですが、毎月ミーティングをしながら事務作業に加えて基盤を整えるために以下のことに取り組んできました。

- ・ 会計や会員管理などの事務作業の改善
- ・ 会員や寄付者、活動に関わってくれた人などの支援者データベースの構築
- ・ 共有フォルダ内のファイルの整理整頓
- ・ 個人情報保護法への対応
- ・ 認定NPO法人に向けた調査

これらの取り組みは2019年度も継続して取り組み、今後もSGが活動していくための基盤を整えていきます。



7世代研究所



7世代研究所（旧名：セブン・ジェネレーションズ研究所）では7世代先の未来の世代のために、環境的に持続可能で、社会的に公正で、精神的にも充足した生き方を実現するための基盤となるコミュニティについての研究から始めています。そして、2016年度からセブン・ジェネレーションズコミュニティについての研究を続けています。また2018年度から桑原康平（サウル）と佐藤さわ（さわ）の二人体制になりました。

2019年度も7世代先に未来に繋がるための研究の継続とともに、新たな研究員、研究テーマも随時募集しています。

研究報告

今年度も昨年度に引き続きSGコミュニティメンバーの活動地域への訪問、インタビュー調査、映画制作、SGコミュニティメンバーの活動領域、提携団体、近接領域で活動している方々との交流、調査を行いました。また今年度からコミュニティについての先行研究の文献調査を始めています。

■訪問地：

神奈川県（相模原市・藤野、川崎市）、茨城県（石岡市・やさと農場、笠間市）、岩手県（遠野市、花巻市、盛岡市、雫石町、八幡平市・ピネムの森）、山梨県（上野原市・西原、韮崎市、北杜市・清里）、大阪府（大阪市）、長崎県（佐世保市、平戸市、長崎市・浦上／大浦／三和）、群馬県（草津町、みなかみ町）、東京都（文京区、台東区、世田谷区、渋谷区、中野区、品川区、港区、千代田区、豊島区、新宿区、中央区、墨田区、荒川区、北区、三鷹市、武蔵野市他）

（次ページへつづく）



■対象者・団体：

暮らしの実験室やさと農場（石岡市八郷）、ピネムの森（八幡平）、トランジション藤野、ブラーマ・クマリス、トランジション・ジャパン、アズワンアズワンネットワーク鈴鹿コミュニティ、ムーブメント・メディスン・ジャパン、自己組織化コミュニティ、えこびれっじネット日本 GEN-Japan、よく生きる研究所、メビウス、アージンジャー、パチャママ・アライアンス、チェンドリ・ファシリテーターズ、G C I コミュニティ、S G コミュニティ、鈴木核（ザンビア滞在報告）

■成果物：

映画「ひなたの夏」（2018年7月制作） <https://vimeo.com/282434766>

「ひなたの里」（2018年12月制作） <https://vimeo.com/312229872>

山梨県上野原市西原に住むチェンドリファシリテーター家族の映画です。

過去の成果物はこちら <https://goo.gl/189TfZ>



■コミュニティ研究の参考資料：

岡檀（著）「生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由(わけ)がある」（2013年 講談社）

森川すいめい（著）「その島のひとたちは、ひとの話をきかない—精神科医、『自殺希少地域』に行く」（2016年 青土社）



IV. 最後に

- ・ 寄付のお願い
- ・ 代表理事メッセージ
- ・ 法人概要

寄付のお願い



今、私たちの文化の中で、私たちにできる最高のことは何か？

それは、自分の心が響くような一番高い目的のためにお金を使うことです。 リン・ツイスト

2018年に開催された「魂に導かれるままに！リン・ツイスト物語オンラインセミナー」の中で、リンがこう語っていました。

「寄付することはあなたにとって素晴らしい機会です！なぜなら、あなたの豊かさに気づくから」と。

「私はお金が無い」そう思っているあなたこそ、目を閉じて「自分が本当に望む世界」を改めて想像してみてください。その世界につながる活動に寄付するという行為に、ぜひ一歩踏み出してみてくださいはいかがでしょうか。

「無い」と思っていたものは、差し出した時に「十分ある」ということを教えてくれます。言葉ではなく、体験から本当に「わかっていく」ということが本当の智慧となり、現実を変えていくのだと思います。



寄付のお願い



2018年度も各地で開催しているチェンドリや当団体のイベントにおいて 855,718円 のご寄付をいただきました。

本当にありがとうございます。

みなさまからの自分らしい役割を果たして持続可能な未来を創り、次世代に受け渡したい、という思いを資金という形で受け取ることで、当団体の活動がより広がり、目覚めた世界市民を増やすことにつながっております。

2019年度はSG10周年の節目の年。ただいまチェンドリVer.4の日本語化に取り組んでいますので、ぜひご期待ください。

こうした新たな取り組みに向けて、私たちも寄付を随時受付けております。みなさまと一緒に持続可能な社会への願いを实践する団体でありたいと考えております。

「あなたの本当に望む世界」の実現に向けて、ぜひあなたの魂の寄付をお待ちしております。



代表理事メッセージ



2018年は、チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム初開催から10周年を迎える記念の年となり、多くのイベントが開催されました。チェンドリやGCIなど基幹事業を除き、20のイベントを開催し、800人以上の方にご参加頂きました。2019年のセブン・ジェネレーションズの団体設立10周年に向けて、はずみのついた年になりました。



2月に新任理事6名を加えた7名の理事チームが誕生しました。多彩な理事が中心となって、広報チームや、チェンドリ盛り上げ隊が発足し、活発な活動がされています。また、事務局長の小泉正信（しんしん）を中心に、会員データベースの構築など将来の認定NPO法人化をめざし、基盤づくりにも取り組んできました。事業計画として、2020年にどうありたいかという「SG2020」の策定も進めました。

5月にサンフランシスコ郊外でパチャママ・アライアンス（PA）グローバル・ギャザリングが開催され、10名の日本人が参加し、130名の世界各国からの仲間と交流しました。その流れで、9月にはPAからマイサを招いて豊かな時間を持ち、ジョン・パーキンスやリン・ツイストのオンラインイベントを開催しました。

2018年の活動も、皆さまからのご支援と参画のおかげで、様々な持続可能な社会を創り上げる活動を継続することができました。皆さまのご支援とパートナーシップに改めて感謝申し上げます。



法人概要



1. 名称

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ

2. 成立

2011年3月15日

3. 事務所所在地

東京都新宿区

4. 連絡先

メールアドレス info@sevengenerations.or.jp

5. 会員数（2018年末現在）

正会員個人 75名

賛同会員個人 50名 賛同会員団体 1団体

6. 役員

代表理事 宇佐見博志

副代表理事 野崎安澄 桑原康平

理事 小泉正信 佐藤さわ 関口守 田嶋真紀

監事 由佐美加子 大山裕之

* 公式ホームページ

<https://www.sevengenerations.or.jp/>

* チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム公式ホームページ

<http://changethedream.jp/>

* ゲームチェンジャー・インテンシブ公式ホームページ

<https://gci-japan.com/>

* 公式ブログ

<https://www.sevengenerations.or.jp/blog>

* Facebook公式ページ

<https://www.facebook.com/7generations.jp/>

「いいね！」よろしくお願いします

* Twitter

https://twitter.com/7generations_jp

フォローよろしくお願いします